

今週のビルマのニュース 2008年3月21日【0804号】

「新憲法によって軍政支配を合法化しようとする国家平和発展評議会（ビルマ軍政）の一方的で非民主的そして非合法的な行為を強く非難する」 —米国会下院に提出された決議案の一部（14日）

今週の主なニュース：「国民投票で反対投票を入れる」動き広がる 軍政も賛成票動員を図る

軍政は「今年5月に憲法承認を問う国民投票を行う」と発表し、国民投票手続きについての法律を施行した。この法律は、国民投票に異論を述べた者は投獄、僧侶の投票は禁止するなど定める。国民投票に反対する住民のリスト化や、国民投票の必要性についての疑問を口にした人の逮捕が始まった。憲法草案は公開されていない〔国民投票や憲法の問題点の詳細についてはバックナンバーを参照。〕

国内で活動する民主化団体「88世代学生」グループは14日に声明を発表し、国民投票で反対票を入れるよう国民に呼びかけた。反対票を入れようとの動きがビルマ各地に広がっている（20日付イラワディ誌）。

軍政当局は国民投票で賛成票を入れるよう公務員に指示したり住民を脅したりしている（17日付イラワディ誌、19日付シャン・ヘラルド・ニュースほか）

その他のニュース：米議会で軍政の民主化計画を非難する決議案提出、ほか

・米国会下院で14日、軍政の民主化計画を「一方的だ」などと非難し「国民投票の結果としての軍政の憲法を受け入れず承認もしないよう、米大統領は国連安保理に働きかけてほしい」とする決議案が提出された。

〔決議案の文面をご覧になりたい方はビルマ情報ネットワークにご連絡ください。〕

・タイのサムマック首相がビルマを訪問し、二国間の経済関係を強化する方針を表明。サルウィン川での大型ダム開発などが再開されることになった。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況

一般無償資金協力

今週の約束発表はなし

草の根・人間の安全保障無償資金協力

3月12日 モン州、橋建設（約853万円）

イベントなど

・写真展「ビルマ2007 民主化運動：高揚、弾圧、現在」の展示

- バンコク外国記者クラブ（FCCT）（3月5～31日）
- 宗教法人 法応寺 愛知県海部郡蟹江町蟹江本町川西6-1（3月17～23日、9時～16時 *但23日は正午まで）
- 佐賀県立女性・生涯学習センター「アバンセ」（4月1～13日）

・在日ビルマ人講演会「ビルマの今」話し手：コラットさん（静岡市女性会館アイセル 21、3月23日 13時半～）

・ビルマ人難民申請者Nさん判決（東京地裁民事2部 606号法廷、3月25日 13時15分）、同Tさん判決（東京地裁民事38部、3月26日 13時25分）

・メコン談話室「援助は誰のものか～ビルマにおける開発援助と暴力」話し手：渡部沙織さん（メコン・ウォッチインターン）（特定非営利活動法人メコン・ウォッチ事務所、4月1日 18時半～）

・宇田有三さんスライド&トーク「ビルマ最新取材報告～軍事政権下生きる人びとの現実とわたしたち」（ひと・まち交流館京都、4月5日 18時45分～）

・アースデーイベント「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリーリーディング」いとうせいこうさん他（代々木公園野外ステージ、4月19日 14時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165